

和の光

宝塚市立西谷中学校



省略

「挑戦し成長できたらいいな」

私は今、中学2年生で生徒会役員として活動しています。その前も実行委員などに参加し「挑戦」を通してたくさんのことを学ぶことができました。

何かに立候補した時に選挙があり、直前はいつも手足が震え、そわそわして落ち着きません。そんな時は「自分ならできる」と言い聞かせます。でも、いざ始めると練習してきたことが抜け、かんでしまったりミスをしたりしてしまうことがあります。

でも、スピーチの原稿を考える時間や話す練習をする時間はどれも大変ですが、終わってから原稿に何度も書いて消してを繰り返した紙を見たこと、原稿を読む練習を家族に何度も何度も聞いてもらったこと、**全てが自分が頑張った証として形に残り、挑戦してよかったと思います。**

大変なことも失敗することもあるけど、どの経験も自分の成長につながるということを学びました。これからもいろんなことに挑戦し成長できるといいなと思います。

（中学生 14歳 姫路市）

神戸新聞 2026年2月26日朝刊「若者Box席」

私は西谷中の生徒の皆さんに、失敗を恐れずに小さな一歩を踏み出して様々なことに挑戦してもらいたいという思いから、「自分の殻を破ろう」という話をしてきました。そのような中「人前で話すことが苦手だったけれど、生徒会役員を経験することで、周りの友だちから堂々と話せていたよと褒めてもらえるようになった」、「書道パフォーマンス実行委員会を経験することで、自分に自信が持てるようになった」などの声を聞くことができました。

この記事にもあるように、皆さんも何か新たなことに挑戦する時に手足が震えたり、思っているように話せなかったりと、緊張や不安からこのような状態になることはありませんか？

でも、勇気を持って一歩を踏み出して（挑戦）してみれば、意外にもうまくいくこともあります。また、うまくいかなかったとしても、その経験は必ず自分の成長の糧となります。

人生すべてがうまくいけば良いのですが、思うようにいかないことの方が多いです。失敗を恐れていては成長しません。ぜひ、皆さんも「挑戦することで成長して欲しい」と願っています。

校長 筒井啓介

■学年末考査が終わりました

1・2年生にとっては学年最後の定期考査、3年生にとっては中学校最後の定期考査です。授業の中で答案が順次返却されますが、点数に一喜一憂するのではなく、間違えた問題についてしっかりと見直しをして理解することが大切です。仮に80点をとったとして、「80点取れたからこれで満足だ」ではなく、「間違えた20点分の問題ができるようになる」ことが大切です。

1・2年生は新たな学年でのスタートに向けてしっかりと振り返りを行ってください。また、3年生は高校進学後、各教科の専門性も更に高くなります。そのためにも中学校で学んだ各教科の基礎をしっかりと身に付けておく必要があります。各教科の振り返りをしっかりと行って、新たな進学先で良いスタートが切れるようにしてください。皆さんの益々の飛躍を心から応援しています。

■写真で振り返る1年間「吹奏楽部」



練習の様子 (7月18日)



定期演奏会にて (11月8日)

Aさん(部長)、Bさん(副部長)を中心に日々の練習を積み重ね、西阪神大会、アンサンブルコンテストなどで活躍しました。また、学校行事や地域行事でも心に響く数々の演奏を披露してくれました。先輩から学んだことを活かしながらこれからも様々な場で活躍してくれることと期待しています。